



新潟県警察

事務職員



警察署 会計課

主事 2017年採用

事務職員を目指したきっかけ

学生の時のアルバイト先で不審者が捕まり、身近なところに危険を感じるタイミングはあるのだと実感したとき、世の中の人のために仕事をしたいと思い、当初は警察官を目指していました。しかし、警察官に必要なとされる体力に自信がなかったため、警察官の給与や職場環境の整備をすることで支えたいと思い、事務職員を目指すようになりました。



現在の仕事とやりがい

遺失物事務や給与支給事務を担当しています。やりがいを感じるのは、遺失物を返還する際に、遺失者の方の「見つけて本当に良かった」の一言を聞いた時です。警察署にいても事務職員は、県民の方と直接関わることが少ない中で、ホッと安心してもらえたことがわかるうれしい瞬間です。また、少ない手がかりから落とし主にたどり着くことができた達成感も湧いてきます。



“当たり前の日常を守る”ことへの意識の変化

県民の方の当たり前の日常を守るために事務職員が直接、県民の方と関わることはないだろうと採用される前は思っていました。それはあくまで事務職員は警察官のサポート役だという印象を持っていたためです。しかし遺失物業務において日常生活を脅かす事態になりかねない財布やスマートフォンの落とし物が届いたとき、困っている人に安心してもらえるような対応をすること、届いた落とし物を返還することも県民の方の生活を守ることに繋がります。事務職員にもできることがあるのだと思えるようになりました。



メッセージ

事務職員は警察官が県民の方々を守るために業務を円滑に進めることができるよう、職場環境の整備や給与・福利厚生などが主な業務のため、縁の下の力持ちのイメージを持つ方が多いと思います。しかし、実際には遺失物や免許事務、他にも様々な所属において事務職員が表に立つ場面は多く、その業務の幅は非常に広いです。警察官を支えること、そして自分が活躍することで県民の方の安心と安全を守る仕事を一緒にしてみませんか？